

千葉県社保協通信

2014年度 — No20 2015年 2月17日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル 3F

TEL:043-225-6790 FAX:043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

講演・ミニシンポ
と
交流会

2015年4月からの介護はどうなる？ 利用者も従事者も安心できる介護制度を求めて交流

介護保障の充実を求める実行委員会／千葉市

介護保険制度の根幹を大きく変える改悪のもと「第6期介護保険事業計画」の実施が4月に迫る中、15日千葉市内で開催した交流会には、介護従事者や利用者など市民67人が集いました。

一昨年9月、県社保協や千葉市社保協などが市内の介護事業所によびかけ、実行委員会を立ち上げすすめてきたもので、昨年3月につづき2回目の開催です。「新たな介護保険の内容と千葉市の動向」について、市介護保険課長の須田展司氏が講演。（写真右）

ミニシンポでは、ヘルパー事業所、デイサービス事業所、特養ホーム、利用者家族の4人が発言。つづいて、参加者は7グループに分かれ、現場の実態を出し合い交流しました。

「新しい総合事業」への疑問や「診療報酬の引き下げ」による不安の声が相次ぎ、利用者も介護現場で働く人も安心できる制度を求める思いにあらわれました。



↑ミニシンポで、利用者家族の立場から発言する堤信一さん

“ 社会保障のためと消費税増税し、制度改悪とは納得出来ない！！ ”

●ミニシンポでの発言から ▼「総合事業でどうなるのか不安を募らせる利用者を訪問し”大丈夫ですよ”と声はかけても具体的に答えられず不安」（ヘルパー事業所）▼「“よい介護がしたい”の思いから離れていく改訂だ」「ベテラン職員が退職して募集しても応募がない」（デイサービス事業所）▼「処遇改善加算分は収入には見込めず、介護報酬改定で1500万の減収か」「サービスの質の低下にならないようにしたいが職員補充が困難」「（補給給付の縮小で）月15000円の負担増になる入所者も」（特別養護老人ホーム）▼「要介護1の83才の妻を介護する私は85才の老々介護」「週4回のデイサービス利用で、入浴、洗髪、爪切り、花見、散歩など楽しいひとときを過ごす様子が連絡帳で知らされる」「介護の職場で働く人たちの収入の保障こそよい介護の保障だ」

●参加者アンケートより ①講演 ▼実際の運営…どうするのか…増々不安になった。▼まだ具体的に決定していない部分があり、介護に係る（働く人達）千葉市の関係者ともっと出席して貰い一般市民も含め多数の方が認識する必要があるのでは！ ▼介護保険の動向は理解できたが、負担が増えることや問題点について、どこでどのようにカバーしていくかがまだ明確では無いのが心配。 ②ミニシンポの発言 ▼制度改正の前は現場や利用者へ負担が大きい。今後どうゆう方法で双方が安心して働いて、生活していけるかが大切。皆で考えていく必要があると感じた。▼堤氏のおっしゃる通り、人生の先輩を尊重する世の中を目指したい。 ③グループディスカッション ▼他事業所の現場の声、利用者の声を聞くことで、同じ悩みを抱えていることが分かり、事業所を越えての連携の重要性を再認識した。▼出会えた新しい仲間とつながりを持ち大きな力にかえていきたい。